

第 27 回 定 例 会

議 会 改 革 検 討 会 会 議 記 録

令和 5 年 3 月 1 0 日

会 議 記 録

| | | |
|------------------------------|---|---|
| 会 議 区 分 | 議会改革検討会 | |
| 開 催 年 月 日 | 令 和 5 年 3 月 1 0 日 | 開 議 午前 1 1 時 0 0 分 散 会 午前 1 1 時 1 4 分 |
| 場 所 | 苫小牧市議会 議会大会議室 | |
| 出 席 者 | 代 表 者 | 木村会長、藤田団長、松尾代表、 越川代表、小野寺団長、桜井会長、 触沢議員 |
| | 代理出席者 | ————— |
| | 正・副議長 | 板谷議長、小山副議長 |
| 欠 席 者 | ————— | |
| 説 明 員 | ————— | |
| 事 務 局 職 員 | 園田事務局長、宮沢事務局次長、岸田副主幹、 小坂主査、神野主査、樺島書記 | |
| 付 議 事 件 及 び 議 事 の 経 過 概 要 | 別紙のとおり | |

●議長（板谷良久） ただいまから議会改革検討会を開会いたします。

●議長（板谷良久） 本日の案件は、会議案のとおりであります。

資料として資料 1 及び資料 2 を配信しております。掲載場所は、サイドブックの議会改革検討会の本日の日付のフォルダになります。

最初に、資料 1 を御覧ください。

議会改革検討会決定・確認事項については、検討項目ごとにこれまで決定・確認されたことをまとめたものでございます。

前回 12 月 9 日開催の議会改革検討会の中で、議会基本条例の見直しについて、倫理条例制定以外の見直しは行わないことが決定しております。

また、検討会の引継事項について、各会派の意見をまとめ、改めてお示しすることを確認しております。

以上が、前回の議会改革検討会決定・確認事項でございます。

市民との意見交換につきましては、昨年 12 月 16 日に、総務委員会において、北洋大学と苫小牧の町及びコロナ禍における大学生生活についてをテーマに開催いたしました。

倫理条例の研修会につきましては、2 月 8 日、議会議案説明会終了後に開催いたしました。

本日の検討会の進め方でございますが、引継事項について各会派から御意見を伺い、協議を進めたいと思っておりますが、そのような進め方でよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

●議長（板谷良久） それでは、そのように進めさせていただきます。

●議長（板谷良久） それでは、協議に入らせていただきます。

引継事項についてでございます。

12 月 9 日開催の議会改革検討会におきまして、改選後の引継事項の検討を行うため、各会派から御意見を伺いました。現在検討項目の中から引き継いでいくべき項目や新たに追加するべき項目など、様々な御意見がございましたので、各

会派の意見をまとめ、改めてお示しすることとしておりました。

資料2の議会改革検討会引継事項についてを御覧ください。

表は、各会派から出された意見を集約し、優先度の高いものから並び替えを行ったものでございます。

項目1は、議員定数・報酬について、項目2の議会のICT化推進については、オンライン会議のルール化で実務者会議で具体的な案の協議、委員会条例の改正について、項目3は、議会基本条例の章立てにして記載しておりますが、議会及び議員の活動原則では、倫理条例の議員研修や今後の見直しを追加、議会運営では、全員協議会での議員間討議について、市民と議会との関係では、市民との意見交換会の活発化についての御意見がありました。

また、項目4の質問時間の見直し、項目5の委員会の在り方、項目6の予算・決算委員会の在り方、項目7の苫小牧市議会災害時対策マニュアルの見直しといった御意見をいただきました。

なお、項目8として、陳情の在り方についてを追加しております。これは、議会運営委員会委員長から議会改革検討会に申し送りの依頼があったもので、市の権限以外の事項を願意としたもので、付託する委員会の判断が難しく、また、該当陳情の提出者が市民以外となっている場合もあり、そのような陳情が最近増えてきております。このことから、一度、陳情の在り方について協議を行っていただきたいとのことでした。

議長といたしましても、資料2のとおり、議会改革検討会の引継事項に追加したいと考えております。

以上の項目を改選後に申し送りをしたいと考えております。

この件について、各会派の御意見をお伺いしたいと思います。

新緑さん。

●新緑会長（木村司） 簡単に言ってよろしいのでしょうか。

●議長（板谷良久） はい。

●新緑会長（木村司） 本当に皆さんの意見をまとめていただいて、この申し送り事項でよろしいのではないかと思うのですけれども。

●議長（板谷良久） ありがとうございます。

公明党議員団さん。

●公明党議員団団長（藤田広美） 今言われたとおり、全ての皆さんの声が反映された内容になっているというふうに思います。

また、最後のこの陳情の在り方について、やはり議会運営の中でこういったことが非常に課題になっているということでもありますので、このことはしっかり次期に議論していただいて決めていただくということではないかと思えます。

以上です。

●議長（板谷良久） 民主クラブさん。

●民主クラブ代表（松尾省勝） 簡潔というかすばらしくまとめられて、ここまでの御苦勞に敬意を表したいと思えます。我々としても、この引継事項をもって改編後の議論にさせていただければなというふうに思えます。

以上です。

●議長（板谷良久） 改革フォーラムさん。

●改革フォーラム代表（越川慶一） この引継事項の内容について、私も賛同したいというふうに思えます。

また、この陳情の在り方とか、やはりその都度いろいろ変わってくるものが出てくるというふうに思えますので、それはまた改選後に、それぞれの意見ということでまた何か出てくるものがあるのかもしれませんが、まずは引継事項としてはこれで結構かと思えます。

以上です。

●議長（板谷良久） 日本共産党市議団さん。

●日本共産党市議団団長（小野寺幸恵） 私も皆さんと同じように賛同したいと思えます。

●議長（板谷良久） 会派市民さん。

●会派市民会長（桜井忠） 賛同いたします。ぜひこれを次回一生懸命議論を尽くしていただければと思えます。

●議長（板谷良久） 触沢議員。

●無所属（触沢高秀） 賛同いたします。

●議長（板谷良久） それでは、そのように進めさせていただきます。

木村会長。

●新緑会長（木村司） 1つお願いがありまして、この全体の表を見ても、3番の全員協議会での議員間討議についてというところが全く進んでいないわけなのです。ぜひその辺を皆さんで進めていっていただきたいなという要望で終わります。

●議長（板谷良久） 承りました。次回引継ぎさせていただきたいと思います。

●議長（板谷良久） その他、皆様から何かございますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

●議長（板谷良久） それでは、最後の議会改革検討会でございますので、御挨拶をさせていただきます。

それでは、座長であります私のほうから一言御挨拶を申し上げます。

本当にこの任期中、皆さんと一緒にこの議会改革を検討するに当たり、非常に活発な意見をいただきましたことをまずもって心から感謝を申し上げる次第であります。

今、市議会としても、全国的に見ましても議会の問題、ハラスメント、いろいろなことがありまして、事件が起こったり、いろいろな問題がマスコミに取り上げられておりますが、本当にこういった議会改革を積み重ねる、小さなことですが、積み重ねていながら、少しずつ議会をしっかりと守っていく、こういったところがこの検討会で積み上がって行って、いい議会になっていただきたいなというふうな思いで務めさせていただきました。本当にすばらしい検討ができたと思います。

本当に御協力いただきましたことに心から感謝を申し上げまして、座長としての挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

次に、副座長から御挨拶をお願いいたします。

●副議長（小山征三） 任期最後の議会改革検討会ですので、一言御挨拶を申し上げます。

この議会改革検討会でいつも思うのが、どんな項目を検討することが一番よいのかなと考えていますと、やはり市民の投票率の向上ではないのかなと、それに

つながる議会改革をしなければならないと感じていたところです。

今ほど座長からもありましたとおり、やはり全国で議員の不正、不祥事があるたびに、それを報道され、そして感じるところがありました。昨今もハラスメントでいろいろと報道されています。まずその襟をきちっと正すということから、今回座長とともに倫理条例に関われたことが非常にありがたいなと感じております。

代表の皆様にご協力をいただき、そして議会事務局の皆さんにも御協力いただきましたことに挟んでお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

●議長（板谷良久）　　続きまして、各会派の代表者の方からも御挨拶をお願いしたいと思います。

新緑、木村会長。

●新緑会長（木村司）　　皆さん、2年間にわたり御苦労さまでございました。すっかりこの挨拶は忘れていまして、本当に2年間でしたけれども、中身の濃い議会改革の議論ができたのではないかと思います。議会改革はとどまることを知りませんので、ずっと延々とやっていかなければいけないと思います。ぜひよろしくをお願いします。

ありがとうございました。

●議長（板谷良久）　　公明党議員団、藤田団長。

●公明党議員団団長（藤田広美）　　この2年間この議会改革検討委員会ということでやってきました。特にこの2年間は、このタブレットを使用しての議会となりまして、本当に様々な形で試行錯誤しながらやってきた2年間だったと思います。

さらに、倫理条例ができたということは非常に大きな部分ではなかったかなと思います。

そういったことも踏まえて、今後も議会改革が進むよう、いろいろな形で応援できればなと思ってます。

2年間ありがとうございました。

●議長（板谷良久）　　民主クラブ、松尾代表。

●民主クラブ代表（松尾省勝）　　皆さん、大変お世話になりました。

コロナ禍中でもありまして、この2年間、議会改革もとどまることなく進んできたなという感慨深いものを私は持っております。

改選後、さらにこの市議会の議会改革が進んでいくようにお祈りを申し上げて、私からの挨拶に代えさせていただきます。

会派のメンバー共々、代わりまして感謝の一言申し上げます。

ありがとうございました。

●議長（板谷良久） 改革フォーラム、越川代表。

●改革フォーラム代表（越川慶一） まずもって、本当に、2年間でありましたけれども、議会改革検討会のメンバーの皆さんと一緒にこの改革を進められたということで感謝を申し上げたいというふうに思います。

このタブレット端末でありますけれども、本当に今回このように導入されましたけれども、もっと早く導入すればよかったなというふうに、私もずっと前から提案をしていたのですが、本当に今回何とか導入できたことがよかったなというふうに思っております。

今後も、この改革、まだまだ遅れている部分も多々あるかというふうに思っておりますから、もっともっとほかの議会の先進的な事例も勉強しながら、どんどん改革をまだまだ進めていければなというふうに思いますので、また今後とも、どうぞ引き続きよろしく願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

本当にどうもありがとうございました。

●議長（板谷良久） 日本共産党市議団、小野寺団長。

●日本共産党市議団団長（小野寺幸恵） 私も議会改革ということに取り組ませていただいて、ありがたいなと思っております。

副座長がおっしゃったように、投票率が上げられれば本当にいいことだなと思っております。そのためには、開かれた議会ということで条例もつくって取り組んできたのだなと思っております。私たち議員の仕事は、どれだけ市民の皆さんの声を議会に反映することができるかということですので、その立場で、これからも議会改革に取り組んでいきたいと思っておりますし、よりよい議会になればなと思っております。

この2年間、本当に皆さんありがとうございました。

●議長（板谷良久） 会派市民、桜井会長。

●会派市民会長（桜井忠）　　まず、２年間というよりも、この４年間通じて、タブレットの導入ですとか、それから後半のほうでは、板谷座長をはじめとして倫理条例を真剣に議論していただきました。私はほとんど倫理条例のほうでは議論に加われないことが多かったのですけれども、しかし、皆さん方の本当に御努力によって素晴らしいものができたなというふうに思っております。

議会というのは、先輩が築いてきたものを、先例を踏襲しながら、変えるところは変えていく、ちょうど川の水のようにどんどん流れていくものだというふうに思っています。そういった意味では、また新しい皆さん方にも期待して、心からの感謝を申し上げて、終わりたいと思います。

ありがとうございました。

●議長（板谷良久）　　触沢議員。

●無所属（触沢高秀）　　私の場合は勉強と学びの４年間でした。皆さんに本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

●議長（板谷良久）　　以上で、議会改革検討会を終了いたします。

御苦労さまでした。

散　　会　　午前１１時１４分

以　上。